



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月6日

上場会社名 神奈川中央交通株式会社
 コード番号 9081 URL <http://www.kanachu.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 堀 康紀

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 福原 賢浩

TEL 0463- 22- 8800

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	85,057	1.1	5,628	6.2	5,769	7.6	3,651	7.4
2019年3月期第3四半期	86,000	0.6	6,003	0.1	6,247	2.8	3,942	0.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 4,646百万円 (16.7%) 2019年3月期第3四半期 3,982百万円 (34.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	297.54	
2019年3月期第3四半期	320.44	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	157,479	64,185	37.8
2019年3月期	153,176	60,064	36.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 59,542百万円 2019年3月期 55,630百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		17.50		22.50	40.00
2020年3月期		20.00			
2020年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	114,900	0.1	5,760	12.8	5,730	15.6	3,240	20.8	264.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	12,600,000 株	2019年3月期	12,600,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	328,012 株	2019年3月期	327,981 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	12,272,004 株	2019年3月期3Q	12,302,161 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産に弱さが続いているものの設備投資が緩やかに増加し、個人消費は雇用・所得環境の改善が続くなかで持ち直しの動きがみられるなど緩やかな回復傾向が続きました。一方、米中を中心とした通商問題の影響などにより海外経済の一部で減速の動きが続いていることに加え、国内では消費税率引上げ後の消費マインドの動向が懸念され、先行き不透明な状況で推移しています。

このような状況のもと、当社グループ各社は、各部門において積極的な営業施策を図ってまいりましたが、当第3四半期連結累計期間においては、乗用事業の収入の減少や乗合事業におけるバス営業所の建替など設備投資の増加に伴う減価償却費の増加により、売上高は85,057百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益は5,628百万円（前年同期比6.2%減）、経常利益は5,769百万円（前年同期比7.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,651百万円（前年同期比7.4%減）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

(一般旅客自動車運送事業)

乗合事業においては、4月に慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスの学生数の増加に対応するため、湘南台駅～慶応大学間で輸送力の増強を行うとともに、神奈川中央交通東(株)にて川崎市交通局より新たに1系統の受託を開始するなどの増収策を図りました。また、10月よりドライバー異常時対応システム（EDSS）を搭載した路線バスを順次導入したに加え、ノンステップバスの導入を推進し安全輸送の確保や利便性の向上に取り組んだものの、10月に発生した台風19号の影響により計画運休を実施したほか、養護学校など一部の特定契約輸送が契約満了となったことなどにより減収となりました。

貸切事業においては、神奈中観光(株)にて、積極的な営業活動に努め新たな旅行エージェントとの取引を開始するなど受注が増加したことなどにより稼働率が向上し増収となりました。

乗用事業においては、高齢の方や車椅子ご利用の方など、さまざまなお客さまが利用しやすいユニバーサルデザインの次世代型タクシー「JPN TAXI（ジャパンタクシー）」の導入を推進しました。また、9月には決済機能付きタブレット端末を全車両に設置したほか、12月にはモバイル端末によるタクシー共同配車アプリ活用時における配車対応エリアの充実を図り、無線配車サービスのお客さまの利便性向上に努めたものの、乗務員不足による稼働減が影響し減収となりました。

以上の結果、一般旅客自動車運送事業全体の売上高は44,548百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益は2,593百万円（前年同期比18.6%減）となりました。

(不動産事業)

分譲事業においては、前期に引き続き、デベロッパーとのマンション共同事業として、伊勢原市桜台にて「リーフィアレジデンス伊勢原」および藤沢市羽鳥にて「プレミスト湘南辻堂」の販売を進めました。

さらに、神奈川県内のほか、東京都内の物件を手掛けるなど広く分譲開発を継続し、新たに横浜市都筑区の戸建分譲を開始したほか、茅ヶ崎市室田の戸建分譲および茅ヶ崎市菱沼の宅地分譲を行ったことなどにより増収となりました。

賃貸事業においては、高稼働率の維持に努め、前期に新たに賃貸を開始した「平塚市浅間町貸店舗」および新規テナントが入居した「港南中央ビル」などの賃貸収入が通期寄与したことなどにより増収となりました。

以上の結果、不動産事業全体の売上高は4,490百万円（前年同期比11.7%増）、営業利益は1,960百万円（前年同期比10.5%増）となりました。

(自動車販売事業)

自動車販売事業においては、神奈中相模ヤナセ(株)にて、7月にフルモデルチェンジした「Aクラス」や「Bクラス」のほか、8月にマイナーチェンジした「CLAクラス」の新車販売が順調に推移しましたが、高価格帯の車両販売数が減少したことなどにより減収となりました。また、神奈川三菱ふそう自動車販売(株)にて、小型トラック「キャンター」の販売が順調に推移するとともに、整備部門において採算性の高い受注獲得に努め車両整備単価が向上したものの、大型バスの販売台数が減少したことなどにより減収となりました。

以上の結果、自動車販売事業全体の売上高は21,886百万円（前年同期比3.9%減）、営業利益は225百万円（前年同期比0.5%減）となりました。

(その他の事業)

流通事業においては、(株)神奈中商事にて、バスICカードシステム機器の代替を受注し、部品販売が増加したほか、バス営業所の建替に伴う空調や厨房などの設備工事を受注したことにより増収となりました。

情報サービス事業においては、(株)神奈中情報システムにて、ドライブレコーダーやバスロケーションシステムなどバス車載器の代替を受注したことなどにより増収となりました。

ビル管理事業においては、横浜ビルシステム(株)にて、4月より新たに金融機関の事務処理業務の一部を受託したほか、公営駐車場の指定管理業務を受注したことなどにより増収となりました。

レジャー・スポーツ事業においては、(株)神奈中スポーツデザインにて、4月より子ども向けスポーツスクールを

核とした小規模運動施設「神奈中スポーツコンボBB茅ヶ崎」を開業したほか、9月に「フィットネスクラブライフ ティック平塚」にて、コラーゲン岩盤浴施設を導入するなど施設をリニューアルし、会員の獲得に向けた施策を推進しましたが、新たな競合施設の出店に伴う競争激化の影響などにより減収となりました。

商用車架装事業においては、横浜車輛工業㈱にて、トラックの新車販売台数の増加を背景にトラクタ架装の受注が順調に推移しましたが、競合他社との競争激化によりトラックメーカーへの部品販売が減少したことなどにより減収となりました。

飲食・娯楽事業においては、ドーナツ店やドトールコーヒー店舗にてタピオカブームによりドリンクなどの売上が順調に推移しました。また、前期に新たなブランド展開を始めたラーメン店の2号店として7月にオープンした「北海道らーめん麺処うたり相模大野店」や、10月にオープンした「ドトールコーヒーショップ日本橋馬喰町店」が順調に推移したものの、T S U T A Y A店舗における売上不振や閉店の影響などにより減収となりました。

ホテル事業においては、宿泊部門にて旅行エージェントへ積極的な営業活動を行い、訪日外国人旅行者など宿泊客が増加しました。また、10月に宴会場を拡張し収容力を強化したことにより宴会の受注数が増加しましたが、前期にケーキショップ「ブルーベリー」を閉店した影響などにより減収となりました。

以上の結果、その他の事業全体の売上高は23,310百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は1,021百万円（前年同期比4.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態の変動状況)

総資産は、神奈川中央交通西㈱秦野営業所および研修センター建替工事に伴い建物及び構築物が増加したことや、自動車販売事業における商品及び製品の増加などにより、前期末に比べて4,303百万円増加し、157,479百万円となりました。

負債は、借入金の返済が進みましたが、リース債務の増加などにより、前期末に比べて182百万円増加し、93,294百万円となりました。

また、純資産は、利益剰余金が増加したことなどにより、前期末に比べて4,121百万円増加し、64,185百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期連結業績予想につきましては、概ね計画通りに推移していることから、現時点において2019年4月25日発表の数値から修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,995	3,453
受取手形及び売掛金	9,824	9,837
商品及び製品	6,485	7,699
仕掛品	9	33
原材料及び貯蔵品	474	536
その他	2,550	2,647
貸倒引当金	△83	△74
流動資産合計	22,256	24,133
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	84,004	85,246
車両運搬具	44,314	43,005
土地	60,796	61,624
その他	20,374	22,795
減価償却累計額	△102,376	△103,939
有形固定資産合計	107,113	108,732
無形固定資産	1,189	1,044
投資その他の資産		
投資有価証券	18,520	19,644
その他	4,164	3,936
貸倒引当金	△68	△10
投資その他の資産合計	22,616	23,569
固定資産合計	130,920	133,346
資産合計	153,176	157,479
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,548	7,830
短期借入金	18,990	24,384
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
未払法人税等	1,097	460
賞与引当金	2,296	1,014
その他	13,019	14,526
流動負債合計	47,952	53,217
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	12,989	6,165
役員退職慰労引当金	25	24
退職給付に係る負債	4,391	4,316
その他	17,753	19,570
固定負債合計	45,159	40,077
負債合計	93,112	93,294

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,160	3,160
資本剰余金	689	689
利益剰余金	46,682	49,811
自己株式	△936	△937
株主資本合計	49,594	52,724
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,035	6,824
繰延ヘッジ損益	15	—
退職給付に係る調整累計額	△15	△5
その他の包括利益累計額合計	6,035	6,818
非支配株主持分	4,433	4,642
純資産合計	60,064	64,185
負債純資産合計	153,176	157,479

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高		
一般旅客自動車運送事業営業収益	45,258	44,378
不動産事業売上高	4,011	4,484
その他の事業売上高	36,730	36,194
売上高合計	86,000	85,057
売上原価		
一般旅客自動車運送事業運送費	37,748	37,293
不動産事業売上原価	1,631	1,882
その他の事業売上原価	29,669	29,200
売上原価合計	69,049	68,376
売上総利益	16,950	16,680
販売費及び一般管理費		
販売費	7,065	7,168
一般管理費	3,881	3,883
販売費及び一般管理費合計	10,947	11,052
営業利益	6,003	5,628
営業外収益		
受取配当金	275	306
事故賠償費精算差益	115	—
その他	158	150
営業外収益合計	549	456
営業外費用		
支払利息	257	240
その他	48	75
営業外費用合計	306	316
経常利益	6,247	5,769
特別利益		
固定資産売却益	20	67
補助金収入	110	48
その他	10	10
特別利益合計	140	126
特別損失		
固定資産除却損	236	166
固定資産圧縮損	108	47
その他	24	47
特別損失合計	369	260
税金等調整前四半期純利益	6,019	5,634
法人税、住民税及び事業税	1,299	1,363
法人税等調整額	602	426
法人税等合計	1,901	1,789
四半期純利益	4,117	3,845
非支配株主に帰属する四半期純利益	175	193
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,942	3,651

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	4,117	3,845
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△98	802
繰延ヘッジ損益	△34	△15
退職給付に係る調整額	△2	14
その他の包括利益合計	△135	801
四半期包括利益	3,982	4,646
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,813	4,433
非支配株主に係る四半期包括利益	168	212

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他の 事業	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	一般旅客 自動車 運送事業	不動産事業	自動車 販売事業				
売上高							
外部顧客への売上高	45,258	4,011	20,424	16,306	86,000	—	86,000
セグメント間の内部 売上高又は振替高	175	10	2,347	6,626	9,159	△9,159	—
計	45,433	4,021	22,771	22,932	95,159	△9,159	86,000
セグメント利益	3,186	1,774	226	974	6,161	△157	6,003

(注)「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通事業、飲食・娯楽事業、ホテル事業等を含んでおります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他の 事業	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	一般旅客 自動車 運送事業	不動産事業	自動車 販売事業				
売上高							
外部顧客への売上高	44,378	4,484	20,028	16,166	85,057	—	85,057
セグメント間の内部 売上高又は振替高	170	6	1,857	7,143	9,178	△9,178	—
計	44,548	4,490	21,886	23,310	94,235	△9,178	85,057
セグメント利益	2,593	1,960	225	1,021	5,801	△172	5,628

(注)「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通事業、飲食・娯楽事業、ホテル事業等を含んでおります。